

# 災害に強い 安全に暮らせるまち

岡崎市副市長  
清水 康則 氏



教育随想

先頃、南海トラフ巨大地震の三十年以内に発生する確率が七十%〜八十%に引き上げられました。市内での被害も死者一〇〇人、建物の倒壊・焼失三九〇棟と甚大な被害が想定される中、新たな地震防災対策の構築が急務となっています。

このような状況の中、市の全組織が一体となり、「公助」による地震対策を着実に進めるため、「大規模地震による死者ゼロと被害の最小化、暮らしの迅速な回復に向け、防災・減災対策を着実に推進する」を基本理念とし、「岡崎市地震対策アクションプラン」を二月に策定しました。この計画では、地域での防災啓発や自主防災活動への支援などを行う、「防災指導員」を各小学校区に配置するといった、「自助」・「共助」による減災活動への新たな支援策に取り組むことも位置付けています。

この「自助・共助・公助」の考え方は、米沢藩主上杉鷹山が、藩財政の立て直しに取り入れた「自助・互助・扶助」の考え方を現代の防災対策に



平成 30 年 4 月 1 日

## 4 月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想……………	1
岡崎市副市長 清水 康則 氏	
この人に聞く……………	2
法性寺ねぎ研究会顧問 近藤 幸男 氏	
羅 針 盤 ……………	2
梅園小学校長 高須 亮平	
ふれあい……………	3
矢作南小学校 加藤 哲士	
特 集……………	4
平成 30 年度 岡崎の教育	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
理科研究報告会 (昭和 41 年)	
この本を……………	8



応用したものです。東日本大震災で、中学生が自分たちの命だけでなく、小学生や周辺住民の命まで救った、所謂「釜石の奇跡」や、熊本地震での、食事の配膳など避難所運営への自主的な参加などは、今なお皆さんの記憶にも残っていることと思います。過酷な避難生活の中で、被災住民は、子供たちの行動から大いに勇気をもらいました。

本市でも、小中学校への防災出前講座を昨年度は二十二回、一三四人を対象に実施しました。また、学校や保護者企画の、避難所宿泊体験訓練も八校で実施され、年々増加傾向にあります。こうした若年層の防災教育の関心の高まりは、子供たちが自分

の命に責任をもつとともに、平時から地域に貢献しようという意識を醸成し、災害発生時において、地域の貴重な力になるものと期待しています。なお、出前講座につきましては、防災啓発の重点施策として実施しており、学校関係に関わらず、いつでも職員が出向きますので、お気軽に御相談ください。

必ず発生する南海トラフ地震を始め、あらゆる災害に備え、「自助・共助・公助」により、将来にわたる「災害に強い安全に暮らせるまち」の実現を私たちの使命として、今後もしっかりと取り組んでまいります。

(しみず やすのり)



### 法性寺ねぎと共に

法性寺ねぎ研究会顧問

近藤 幸男 氏

法性寺ねぎ研究会を立ち上げた近藤氏が会長から顧問になったのは、ちょうど一年前のことである。室町時代の末期に六ツ美の法性寺にいた修行僧が京都から九条ねぎを持ち帰って栽培したことが、法性寺ねぎの始まりとされている。矢作川付近の砂地で水はけが良いことがねぎの栽培に適していたようである。近藤氏の自宅の倉庫近くでは、収穫されたばかりのみずみずしいねぎの香りが、一面を覆い尽くしていた。

「親の代から、当たり前のようには法性寺ねぎの栽培を手伝ってききました。中学生のときは、自転車にねぎの束をくくって、岡崎城近くの市場まで運んだこともありました。成人して会社に勤めましたが、帰宅後はねぎの出荷に携わっていました。」

定年後、法性寺ねぎの栽培に本格的に取り組み始めた。

「法性寺ねぎは、暑さにも寒さにも強い珍しいねぎです。特に冬は地面が凍っていても、葉が青々としています。そして朝晩の温度差が十度以上ある二月になると、葉の外側に蜜が露のように点々と出てきます。ねぎとねぎの間を歩くと蜜でズボンが濡れてしまいます。それほどに甘みがあり柔らかく、風味があります。」

昭和三十年頃、法性寺近くには、ねぎ農家が二十数軒あったが、今は六軒ほどに減少した。そのうち一年中ねぎを市場に出荷するのは、二・三軒だという。

「ねぎの出荷までは、大変手間がかかります。一番大変なことは、枯れ葉を取る作業です。収穫した何万本とあるねぎの一本一本を手でむいていきます。軽トラックいっぱい積んだねぎを、妻と二人でむいたと言うと驚かれます。まさに、一日中作業しています。ねぎのにおいが、体中に染みついていきます。」

作業の大変さがねぎ農家減少の原因の一つになったと近藤氏は考える。「個人だけでやっていては、いつか法性寺ねぎは絶えてしまう。多くの方と協力し、品種を保持していくために研究会を立ち上げました。」

研究会会長として生産者の畑を巡回して生育状況を確認したり、市場関係者と出荷規格の説明などを行う目揃い会を開いたりして、栽培技術

の向上に努めた。

法性寺ねぎは平成十五年に「愛知の伝統野菜」に認定された。

「法性寺ねぎは昔から株分けて増やしています。伝統野菜の認定を受けるとは、DNAが五十年以上変わらないことが条件なのです。」

研究会では、法性寺ねぎを束ねる緑色の結束テープを作成し、伝統野菜としてのブランドを守っている。

「私は法性寺町だけにこだわらず、このねぎの存続を願う多くの方々に研究会に入ってほしいと思います。生産者の増加が法性寺ねぎの伝統を守ることにつながります。」

数年前から近藤氏は地域の講師として、地元の農産物について学習している小学生などに、法性寺ねぎの栽培の仕方を教えている。

長年育ててきた法性寺ねぎに対する愛情と伝統を守り続ける使命感を胸に、今日も近藤氏の活動は続く。



氏名 こんどう ゆきお  
生年月日 昭和十一年二月二十日  
住 所 岡崎市法性寺町



### 流行を超越した

### 地道な教育実践を

梅園小学校長

高須 亮平

次期学習指導要領が公示され、「主体的・対話的で深い学び」という言葉が浸透しつつあります。これは、新しい言葉のようですが、その意味は以前から語られています。時に美しく、安易そうで、授業には聞こえの良いうように使われますが、その真の理解と実践には、教師の意識改革が求められるように思われてなりません。

多くの先輩方は、授業について具体的に教えてくれています。

「子供が帰った教室で、今日はこの子はどうしていたか、何をしてやれたかを考えてみなさい。」

「新聞や教育書を丁寧に読み、子供が興味をもち、授業に役立てられる教材ノートを作ってみなさい。」

「自分の授業を録音し、授業記録として起こし、それを繰り返し読むことを続けてみなさい。」



## 忘れられない返事

矢作南小  
加藤 哲士

あの日聞いた「はい」という声は、私の心にしみわたり、一生忘れることのない大切な思い出となっている。六年生の担任を任された私は、早く子供の名前を覚え、最高のクラスにしたいと意気込んだ。A男の記録に目を通すと、「かん黙」と書かれていた。

そして子供との初めての顔合わせを迎えた。一人ずつ名前を呼んでいくと、元気な返事が聞こえてきた。うれしくなった私は同じ調子でA男の名前を呼んだ。しかし、A男の返事は聞こえず、さっきまでの明るい雰囲気が一変し、教室は静まり返ってしまった。

次の日から何度もA男に話しかけたが、挨拶や返事はもちろん、うなづくことさえもなかった。悩んだ私は、A男の友達に相談した。

「A男は、みんなの前で名前を呼ん

だことを怒っているから、先生と話してくれないのかな。」

「違う。A男は僕たちとも話さない。」

「でも一緒に遊んでいるよね。」

「遊ぶけど、話はしない。身振りだけで、何が言いたいか分かる。心が通じ合っているからね。」

子供同士では意思の疎通ができるのに、私にはできない。

何とか私もA男と意思を通じ合わせることはできないだろうか。周囲に尋ねると、学校でA男の声を聞いた人はいないようであった。しかし、母親から、「家では話をする」と聞き、希望はあると思った。

あの手この手でA男と向き合った。自然に声を出すことを目指して、みんなで面白いことをして笑わせた。冗談を言ってみたりしたが、声を聞くことはできなかった。授業でも、A男が心を許せる友達と意図的にグループを組み、少しでも安心してきる環境づくりに努めた。それでも、進展のない日々は続いた。しかし、あきらめたくはなかった。

三学期になったある日、A男が初めて忘れ物をした。しかし、友達とふざけ合っているばかりで全く反省している様子はない。授業後、A男を呼んで諭した。最初、A男はうなづくこともしなかったが、

「忘れ物をしたと言えなくても、反省していることを伝える方法はあ

ろう。」

と言うと、やっと小さくうなずいた。

「そうだよ。今うなずいてくれたように、できることで答えてほしいな。」

そして、卒業式で先生の呼びかけにもし答えてくれたら、クラスのみんなも先生も最高にうれしいな。」

するとA男の目から涙がこぼれ、再び小さくうなずいた。

卒業式の練習が始まったが、A男の返事はなく、黙って証書を受け取ることが続いた。しかし、願いを込め、毎週提出される日記の最後に、「卒業式で返事ができるといいね」の一文を書き足し、思いを伝えた。

卒業式当日、私はA男が舞台上上がるのを確認し、心を込めて名前を呼んだ。

「はい。」

はつきりと聞こえたA男の返事。静寂の中、一瞬時が止まったように感じた。同時に、涙があふれ出し、ほおを伝って流れた。



それらを即実行することは難しいことかもしれない。作業に要する時間は相当かかります。しかし、その気になれば特段の才能やセンスはいらないので誰でも始められます。

一日の子供の姿を思い浮かべると、これまで見過ごしてきた、その子の真意が徐々に感じられるでしょう。そして、今日の指導の何が問題で、翌日からどう改めればよいかが自ずと見え始めるでしょう。

教材ノートを作ることで、授業を構想する上で、子供に即した教材を選定できるでしょう。そして、そのような教材に支えられた実践により、授業で子供を育てるという当然の事実に気付くでしょう。

授業記録を読み込むことで、自分の指示や説明が多く、分かりにくかったことや、子供の意図を誤解し、教師の都合で授業を進めていたことに気付くでしょう。そのことにより、謙虚な気持ちで子供の良さを生かした授業を展開できるでしょう。

教育に求められることは、美しい言葉で飾り立てることでも、流行、流儀を追うことでもありません。あくまで子供に誠実で、地道な教育実践を、継続していくことなのです。

登山の目標は山頂と決まっています。しかし、教育の面白さはその山頂にはなく、かえって逆境の、山の中腹にあると思うのです。私たちは教職生活の一過程である今を、たくましく生き続けていきたいものです。

それらを即実行することは難しいことかもしれない。作業に要する時間は相当かかります。しかし、その気になれば特段の才能やセンスはいらないので誰でも始められます。一日の子供の姿を思い浮かべると、これまで見過ごしてきた、その子の真意が徐々に感じられるでしょう。そして、今日の指導の何が問題で、翌日からどう改めればよいかが自ずと見え始めるでしょう。教材ノートを作ることで、授業を構想する上で、子供に即した教材を選定できるでしょう。そして、そのような教材に支えられた実践により、授業で子供を育てるという当然の事実に気付くでしょう。授業記録を読み込むことで、自分の指示や説明が多く、分かりにくかったことや、子供の意図を誤解し、教師の都合で授業を進めていたことに気付くでしょう。そのことにより、謙虚な気持ちで子供の良さを生かした授業を展開できるでしょう。教育に求められることは、美しい言葉で飾り立てることでも、流行、流儀を追うことでもありません。あくまで子供に誠実で、地道な教育実践を、継続していくことなのです。登山の目標は山頂と決まっています。しかし、教育の面白さはその山頂にはなく、かえって逆境の、山の中腹にあると思うのです。私たちは教職生活の一過程である今を、たくましく生き続けていきたいものです。



# 平成30年度 岡崎の教育

▲ 主体的・対話的に学ぶ子供（六ツ美中）

## 岡崎の教職員

「教育は、人を育てるとともに、弱者を救うものである。教師の子供への対応は、その温かさにおいて、そのきめ細やかさにおいて、その思いやりの深さにおいて、他の大人たちに比べて、はるかに優れたものでなければならぬ。」（「回顧と期待」松原眞志夫 参照）

四月、子供たちと新たな出会いがあった。新しい出会いに胸躍らせている子供、新たな一歩を踏み出すことに躊躇している子供、私たちは、全ての子供一人一人に温かく手を差し伸べる教師でなくてはならない。

今、学校教育は、新しい学習指導要領の完全実施に向けて、大きな転換期に入った。予測が困難な未来に対応するために、多様な変化を柔軟に受け止め、豊かな感性を働かせて、主体的・対話的に学ぶ子供の育成に大きく舵をとるときが来た。岡崎の子供たちが、これから先、どのように学び、何を求め、どのように自己を高めていくのか、それを導く私たち教師の責任は重い。

その一方で、「教職員の働き方」の

見直しを迫られ、教職員一人一人の意識改革が求められている。教職員の多忙化解消に向け、岡崎市においても具体的な取組が始まった。

しかし、どんなに改革が進もうと、これまで岡崎で脈々と受け継がれてきた子供にとことん寄り添う教育が重要であることは言うまでもない。そして、それを支える情熱なくしては、教育は成り立たない。

これからの教育は、「多忙化解消」と「達成感」のバランスの上で成り立つ。教職員が健康で、笑顔で、情熱をもって、子供に向かうことが子供たちの幸せにつながる第一歩である。

## 岡崎の教育の視点

学校教育に求められているものは、児童・生徒が人間として生涯にわたって心豊かで、力強く生きぬくための基盤となる能力を育成することと、知・徳・体の調和のとれた感性豊かな人間形成を図ることである。その原点には、教師の「子供の幸せを願う強い思い」と「人間形成への情熱」がなければならぬ。

各学校においては、基礎的、基本的な内容を重視し、物事の本質に迫る



▲ タブレットPCを活用した授業（生平小）



▲ 英語教育の推進（六名小）

学習活動を通して、学ぶことの価値

を実感させることが重要である。ま

た、個に応じた指導を充実させ、児童・

生徒の個性を伸ばす教育を展開し、

自己有用感を育み、自分自身の価値

に気付かせることが大切である。そ

のために、学校や地域の実態に応じ

て、創意工夫を生かした特色ある教育

課程を編成し、公共の精神を尊び、

子供が自他を敬愛し、喜んで通うこ

とのできる、安全で魅力ある学校づ

くりを目指す。

「教育は人なり」の至言のごとく、

岡崎の教師は、教育者としての使命感

に燃え、全校一致の指導体制のもと、

敬愛の情で結ばれた師弟関係を築き、

家庭と地域と学校とが協働し、信頼

される教育の創造に努める。

特に次の三点を指導の重点とする。

○学ぶ楽しさを実感し、真理を求め、

学び続けるための「確かな学力」

を育む教育の推進

○命の尊さやふるさとの大切さを自覚

し、共に生きるための「豊かな心」

を育む教育の推進

○体を動かす楽しさを体感し、たく

ましく生きるための「健やかな体」

を育む教育の推進

### 時代の要請に応える岡崎の教育

情報化やグローバル化といった

社会状況は、人間の予測を超えて加速

度的に変化している。未来予測が困難

な時代になったと言われている。

岡崎の教育は、これまで、その時代

の要請に応え、独自の教育活動も推進

してきた。「英語教育」「環境教育」

「岡崎の心の醸成」は、全校に根付

いている。今後もこれらの教育活動

は、各教科・領域で継続していく。

子供たちが、予測できない社会変化

に主体的に向き合い、未来の創り手

となる力を身につけていくために、

これまで培ってきた教育実践を礎と

して、新たに求められる教育を弛まな

い授業改善と教育研究を通して実現

していく。

### 重点努力事項

今、私たちが取り組むべき事柄と

して、以下の四つを挙げる。

①子供理解に努め、子供に寄り添う「心」ある教育活動の推進

道徳教育の充実をはかり、他者を

思いやる心を育む。また、子供の心

に寄り添った教育活動を行い、学級

集団適応心理検査（中学校全学年と小学校五・六年）等も活用して子供理解と居場所づくりに努める。

②健康でやりがいのある教職員の働き方の実現

教職員の働き方研究会から出さ

れた「教職員の働き方に関する答申」、

及び岡崎市教育委員会が示した「教職

員の働き方に関する改善の方針」に

基づく働き方改革の推進に努め、子供

や教職員の多忙化を解消し、健康的

な学校生活を実現する。

③新学習指導要領に基づいた教育課程・授業研究の推進

市研究委嘱校、教科・領域指導員

会、授業改善委員会を中心に、新た

な教科・領域、また、内容に対する

授業実践を行い、先行研究を進める。

④学校ICT化の推進

本年度、中学校に続き、全小学校

にタブレット型端末を配備する。こ

れらの情報機器を活用することで個

の学び、協働的学びの充実をはかる。

また、OKサイン、校務支援ソフト

等の活用により情報の活用・管理、

事務も効率化を促進する。



### ●岡崎市教育委員会人事

平成三十年四月一日より、前翔南中学校長の安藤直哉氏が教育長に就任した。また、小出義信氏が教育長職務代理者となった。他の教育委員は、岡田京子氏、福應謙一氏、土屋武志氏の三名である。

学校指導課は、指導管理係、指導研修係、教育支援係、学事保健係の四係体制である。なお、総務課に、学校情報係が設置されている。

### ●教育関係機関だより

#### ◆教育相談センター

☎七一一三二〇一

教育相談部門と通所・支援部門がある。教育相談部門には「そよかせ相談室」があり、通所・支援部門には、不登校

児童生徒適応指導教室「ハートピア竜美」等がある。

#### ○そよかせ相談室

就学・特別支援教育・いじめ・不登校等に関する学校支援をしている。相談したい場合は、電話で予約をした後、来所すれば臨床心理士や相談員が対応する。また、発達障がい

#### ○ハートピア竜美

☎七一一三二〇七

不登校やその傾向がある児童生徒が学校への復帰を目指して通所し、指導員やハートピア専属の臨床心理士による支援を受ける。登校支援員、学校からの要請に応じて、登校支援員が家庭訪問をするなどして、登校の支援、相談等を行っている。

#### ○スクールソーシャルワーカー

児童生徒が置かれている環境や課題への働きかけ、関係機関との連携・調整や支援を行う。福祉や教育に精通した社会福祉士や教員OBが対応する。

#### ◆岡崎市総合学習センター

#### ○教育研究所

☎八三―七七七〇

#### ○一階受付

☎五四―一一一五

岡崎市総合学習センターは、大・小ホール、教育研究室等を完備した教育施設である。特に、教育研究所内の教育図書室は、学習指導案の閲覧、図書資料の貸し出し、学芸会等行事のDVD視聴などができ、現場の先生方に役立つ情報が充実している。

また、教育アドバイザーが常駐しており、教育に関する様々なことについて、相談することがができる。

☎五八―四八三一

○ハートピア上地  
適応教室の利用希望者増加に対応するために開設された。事業内容は、「ハートピア竜美」と同じである。

#### ◆少年自然の家

☎四七―二三五七

新年度が始まり、所長をはじめ二人の新しい指導員を迎えた。また、昨年度後半から宿泊棟のトイレや風呂のボイラー等の修理を終え、設備面でもリフレッシュした自然の家となった。今、新たな少年自然の家として、中学校一校と、小学校四十一団体を迎える準備をしている。

学校利用や自然の家主催行事に応募し、自然の家での活動に胸を躍らせてくる多くの子供たちのために、自然に親しみ、心が豊かになるようなプログラムを考えなくてはならない。

毎年人気のあるカヌーや落ち葉スキーばかりでなく、心に残るキャンプファイヤーや友との協力なしではできない飯ごう炊飯も、子供たちの取り組み方一つで、盛り上がり方がずいぶん違ってくる。各校の取組を手助けできるように、設備の準備はもろろんのこと、柔軟な受け入れ態勢が取れるように心がけている。

### ●表彰

◆東海ブロックU14クラブチャンピオンシップ男子バレーボール大会

二位 北中 竹本 結

中村 祐哉

◆東海中学校選抜卓球大会

○男子団体

三位 矢作中学校

◆全三河新人卓球大会

○中学女子団体戦

二位 北中学校

◆全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト東海支部大会

○中学生部門

金賞 竜海中 成田 百花

(東海地区代表)

竜海中 穴原 陽菜

銀賞 竜海中 橋本 真優

竜海中 中村 聡美

金賞 竜海中 金管八重奏

竜海中 フルート独奏

成田 百花

◆中部日本個人・重奏コンテスト愛知県大会

○小学校 重奏の部

金賞 竜美丘小 打楽器五重奏

○中学校 重奏の部

金賞 南中 金管九重奏

金賞 南中 金管九重奏

金賞 南中 金管九重奏

竜海中 金管八重奏

北中 管打八重奏

新香山中 サクソフ四重奏

○小学校 個人の部

金賞 竜美丘小 本田杏衣奈

(トランペット)

○中学校 個人の部

金賞 矢作中 内村 珠理

(アルトサクソフォン)

矢作北中 浅井 珠奈

(ユーフォニアム)

竜海中 成田 百花

(フルート)

◆環境省近隣騒音防止ホスター・

カレンダーデザイン募集

最優秀賞

六ツ美北中 上原 小巻

◆「俳句の里」山梨県笛吹市

全国小学生・中学生俳句会

佳作 梅園小 鳥居 花凜

◆上廣倫理財団主催感動作文

コンクール

佳作 梅園小 石原 理子

◆CBCラジオ主催

第58回小学校作文コンクール

入選 梅園小 坂下 優衣

◆人権を理解する作品コンクール

○書道の部

佳作 矢作北小 佐藤 綾

◆全国少年新春書道展

○ハツ切半紙部門

入選 竜海中 中村 萌音

北代 凜

●期待の新任教員

平成三十年度岡崎市小中学校

新規採用教員は九十三名(養護・

栄養教諭を含む)である。

なお、新任教員の配置は次

のとおりである。

◆新規採用教諭

梅園小学校

根石小学校

男川小学校

美合小学校

緑丘小学校

羽根小学校

岡崎小学校

六名小学校

三島小学校

井上 健人

竜美丘小学校 宮本 剣志

布施 将太

連尺小学校 木里 悠乃

加藤めぐみ

広幡小学校 旦木 里奈

名和龍之介

井田小学校 星野 楓

福岡小学校 福田 琴

愛宕小学校 古崎真帆里

米澤 和志

福岡小学校 吉原 昂平

齋田 宙夢

竜谷小学校 武谷依里香

藤川小学校 三輪 文菜

山中小学校 七里 奈穂

本宿小学校 日高 那菜

秦梨小学校 社本 匠

常磐南小学校 矢藤 大基

常磐東小学校 浅野 亮太

常磐小学校 吉田 早希

恵田小学校 鈴木 佑佳

細川小学校 松原 愛

岩津小学校 田中 康臣

大樹寺小学校 森 遥香

玉腰 理江

安藤 智実

大門小学校 古瀬 彩

多田 佳峻

江口 珠実

池谷 麻衣

三矢 花

前田 春輝

石川 真歩

光崎 真司

石川 壮

市川 萌

今泉 力

竹村 優佑

中川愛祐美

柴田 惇志

水野亜由香

濱中 利矩

岩瀬彩央理

島田 豪

鈴木 由理

勝村 大修

加藤 結花

本郷 徹真

小川 春菜

中西 悠

鈴木 康仁

前山 千尋

増田 宗己

吉川 由唯

河合 政哉

松本 唯

城北中学校 市川 涼葉

小幡 祐一

東海中学校 近藤 李奈

石原 薫子

常磐中学校 川合 隆広

矢作中学校 鈴木 佑典

六ツ美中学校 山口 隆寛

矢作北中学校 吉田 修梧

市川 萌

竜南中学校 鈴木太加志

野々山真衣

北中学校 小出 啓介

津田 耕平

額田中学校 松下 正義

加藤 星也

翔南中学校 杉浦 考昭

甲山中学校 鈴木 里紗

矢作北中学校 原田 彩加

◆新規採用栄養教諭

岩津小学校 森岡 恵奈

●期待の新任事務職員

平成三十年度の新任事務職員は二名で、配置は次のとおりである。

梅園小学校 岩月健太郎

甲山中学校 太田 明里

・題  
・タイトルバック  
・各タイトル  
・力ツト

教育長 安藤直哉  
本宿小 高木理人  
翔南中 金澤一幸  
六ツ美中部小 實松理沙

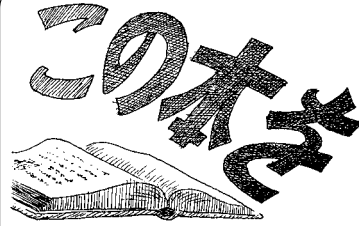
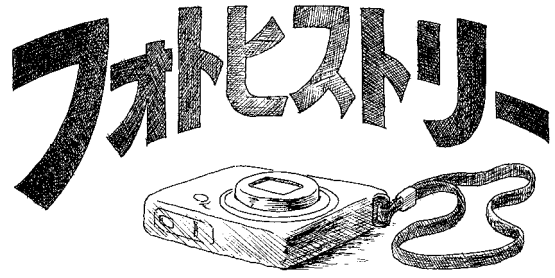
## 理科研究報告会 (昭和41年)

写真提供：六ツ美北部小学校

実験用でこに手をかけ、対話しながら笑顔で学習している理科の授業風景である。当時から子供主体の、実感を伴う学習が進められていたことが分かる。

昭和三十一年、岡崎に科学の灯をともしようと、五か年計画を打ち出し、毎年、六百万円(当時の額)の予算で科学教育振興を進めた。器具が整えられ、児童生徒の実験・観察力は向上した。こうしたなか、六ツ美北部小では、昭和三十六年にソニー理科教育振興資金応募論文が入賞。三十九年には優良賞を受賞した。

今年度は、小学校六校と全中学校で、スーパーサイエンススクール推進事業が展開される。子供たちに科学の灯がともる。



\*日本でいちばん幸せな社員をつくる! 柴田 秋雄  
S B Creative ¥1,300

心に残った一文  
いいところを見つけられないのは、上司の責任を果たしてないだけだ。

4期連続赤字のホテルを、7期連続黒字へと再生させた著者。思いもよらない改善策の根底には、「社員を幸せにする」という著者の思いがある。「人を幸せにする」というものさしで物事を考え、実行することが従業員の意識を変え、仕事ぶりを激変させた。

子供たちにとって、温かい、居心地が良い学校・学級にするためには、まず教職員が幸せであること。そして、「子供たちを幸せにする」という目的に向かって教職員全員のベクトルを合わせる。これらが大切であると、改めて教えられる一冊である。

\*消えるコトバ 消えないコトバ 外山滋比古  
P H P 研究所 ¥925  
\*裁判の非情と人情 原田 國男  
岩波新書 ¥760  
\*世界が憧れた日本人の生き方 天野 瀬捺  
ディスカバー携書 ¥1,000

美川中 野田 豊

法性寺ねぎの束を赤子のように大事に抱えて「ずっと同じ仕事をする事が出来る。こんなうれしいことはない」と穏やかにほほ笑んだ。謙虚な言葉が胸を打つ。改めて仕事に対する心のもち方を問いかける。四月。共に過ごせる喜びを抱いて子供の前に立ちたい。

頭髮や身なりを整え、教室の扉の前で深呼吸する。学級開きの緊張感は、毎年変わらない。

穏やかな楽しい日々だけではないかもしれない。だが、子供たちを信じることで、おのずと道は開けてくるだろう。さあ、新しい一年が始まった。

どホ

ツ

卯月



授業参観 (矢作南小)

土に深い根を張り、可憐な花を咲かせるタンポポ。見た目からは想像できないほど根は長く、強い生命力を支える。

子供たちも、目に映る姿や話す言葉だけでは全てをとらえられない。内面にある思いに寄り添い、花開くまで愛情を注ぐ教師でありたい。